

「麻溝地区要望書」への回答書

麻溝地区内には、市内の一般ごみを焼却する南清掃工場や埋立てを行う一般廃棄物最終処分場があり、廃棄物処理施設が集まっています。こうした状況の中、地域の皆様には昭和期からの長い年月にわたりご負担をお掛けしておりますが、相模原市72万市民の衛生的で安定した生活が維持され、市民生活を支えていただいていることに心から感謝申し上げます。

また、麻溝地区の皆様におかれましては、啓発チラシ「あさみぞ 発 ごみの減量化大作戦!!」を作成されるなど、ごみの減量化に向け熱心に取り組んでいただいていることに深く感謝申し上げます。

本市では、令和19年度に現最終処分場の埋立容量の限界が見込まれることから、全市域を対象として次期最終処分場の候補地選定に取り組んでまいりましたが、地域の皆様との対話を経て庁内で議論を重ね、麻溝地区を候補地といたしました。

令和6年11月には、麻溝地区まちづくり会議から「次期一般廃棄物最終処分場に係る要望書」をいただき、要望書に綴られた地域の皆様方の思いを真摯に受け止めるとともに、その思いに寄り添うべく検討しております。

本市としても「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉に、全市的に一層のごみの減量化・資源化に向けた取組を進め、周辺地域の振興策についても地域の皆様方とともに考え、より良いまちづくりを目指してまいります。

要望項目

- 1 次期最終処分場の次の最終処分場は造らないこと
- 2 更なるごみの資源化・減量化を推進すること

最終処分場の整備事業は多くの課題を克服する必要があり、要望書にある次期最終処分場の次の最終処分場についても、今後画期的な技術革新がない限り更に困難性が高まると考えています。

このため、本市では、令和9年度策定予定の市政運営の最上位計画である次期相模原市総合計画の策定において、「4Rの推進などによりごみ排出量を一層削減し、市域での将来的な埋立ゼロの実現を目指すこと」を廃棄物政策の基本に掲げるとともに、一層のごみの減量化・資源化を計画的に進めていくための「ロードマップ」を作成し、しっかりと取り組むことで、現在、最終処分場のある麻溝地区に次期最終処分場の次の最終処分場を整備することのないよう努めてまいります。

3 行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること

なお、仮に次期最終処分場の最終候補地に麻溝地区の候補地が選定された場合には、以降は麻溝地区に最終処分場を造らない旨の誓約書を提出すること。

麻溝地区の地域振興策については、庁内横断的に取り組む必要があるため、昨年5月に「一般廃棄物処理施設整備検討会議」を設置しました。

今後は、県道52号の4車線化や路線バスの利便性向上、現最終処分場の跡地利用を含めた麻溝公園周辺地域のまちづくり等について、地域における「ワーキンググループ」などにより、行政と地域がともに考える地域振興策の実現に向けて協働して取り組みます。

なお、誓約書の提出につきましては致しかねますが、前述のとおり次期相模原市総合計画に新たな廃棄物政策の基本を掲げ、市域内での将来的な埋立ゼロの実現を目指し一層のごみの減量化・資源化を計画的に進め、現最終処分場及び次期最終処分場のできる限りの延命化に取り組んでまいります。

令和8年1月22日

麻溝地区まちづくり会議
会長 伊藤 信裕 様

相模原市長 本村 賢太郎

